

昼の風景



夜の風景



流光

油山・七隈高速道路高架橋 地下トンネル坑口部のデザイン

現在、近代化に伴い様々な構造物が建設されている。私たちが対象地として選んだ七隈も、市街化や商業化のために起こる慢性的な渋滞の緩和を目的として都市高速道路の建設が進められている。しかし、昔は七隈も、七つの湖に囲まれていたことが名前の由来となっているように、山や湖に囲まれた自然豊かな町であった。そのことから私たちは、当時の七隈という地域の特徴を近隣の人や七隈に通う学生にも感じてもらえるように、この対象地域をデザインしようと考えた。また、高速道路のすぐ隣は住宅地や病院があり、地中に入り込むトンネルさらにはアーケードがあることで、防音・防護の効果をもたらす。

私たちがタイトルとしてあげた『流光』という言葉には「光陰の経過すること」、「光の流れ」という意味以外にも、「月日の経つこと」という意味がある。私たちは、この対象地域に昔から存在していた風景の延長となるようなものを造ることで、月日の経過とともに移りゆく風景を表現した。



月日の流れ

対象地は古くより、福岡市民に親しまれてきた油山の山裾に位置する。月日の経過とともに失われた、この地域の以前の姿を山裾を縫う豊かな緑と光で表現した。

車の流れ

光のせせらぎは道路からアーケード、トンネルに流れ込み、光の道となる。それは暗い、怖いといったイメージのトンネルを明るく魅力あるものにし、車の流れを美しく演出する。

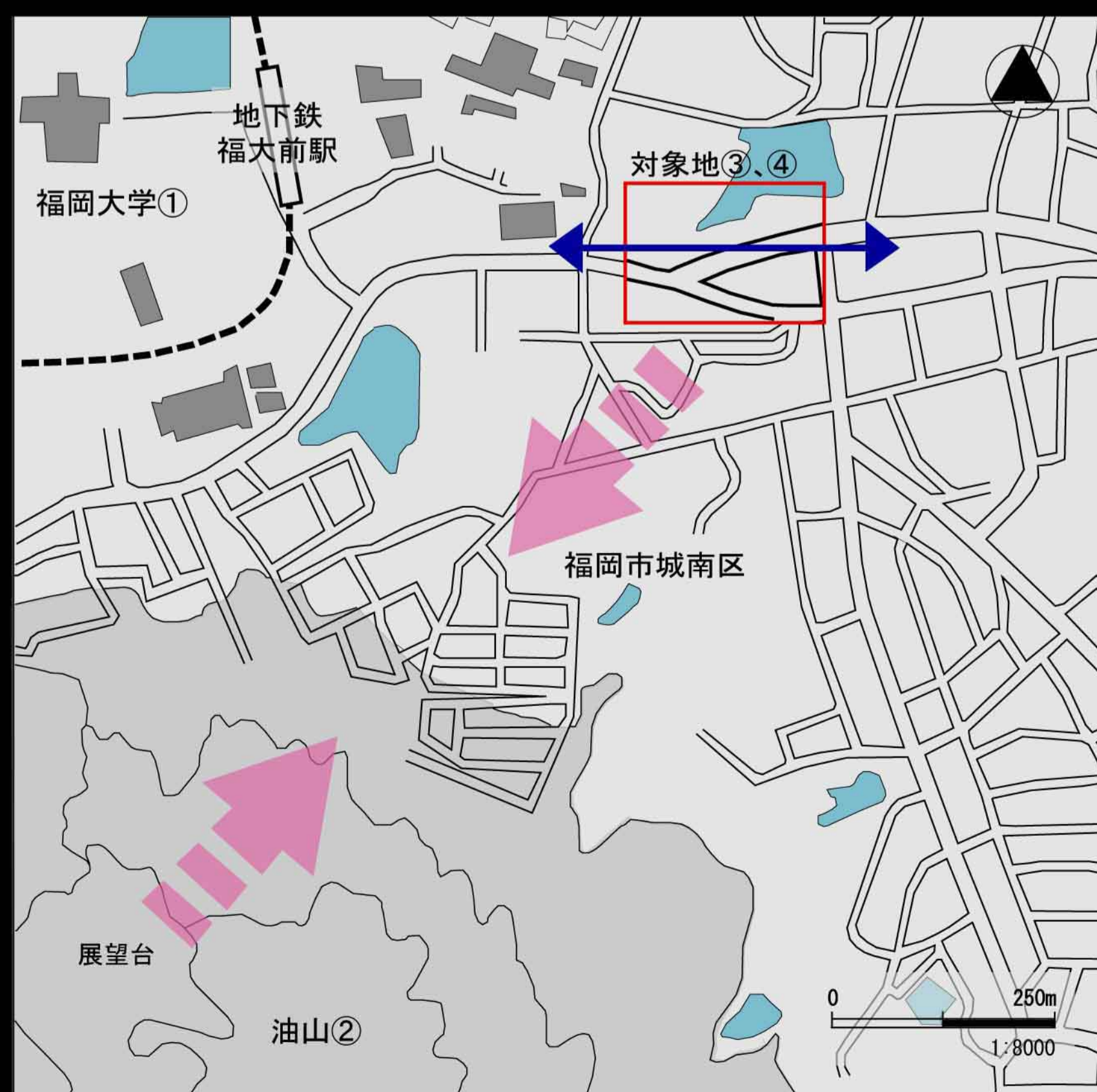
流光

人の流れ

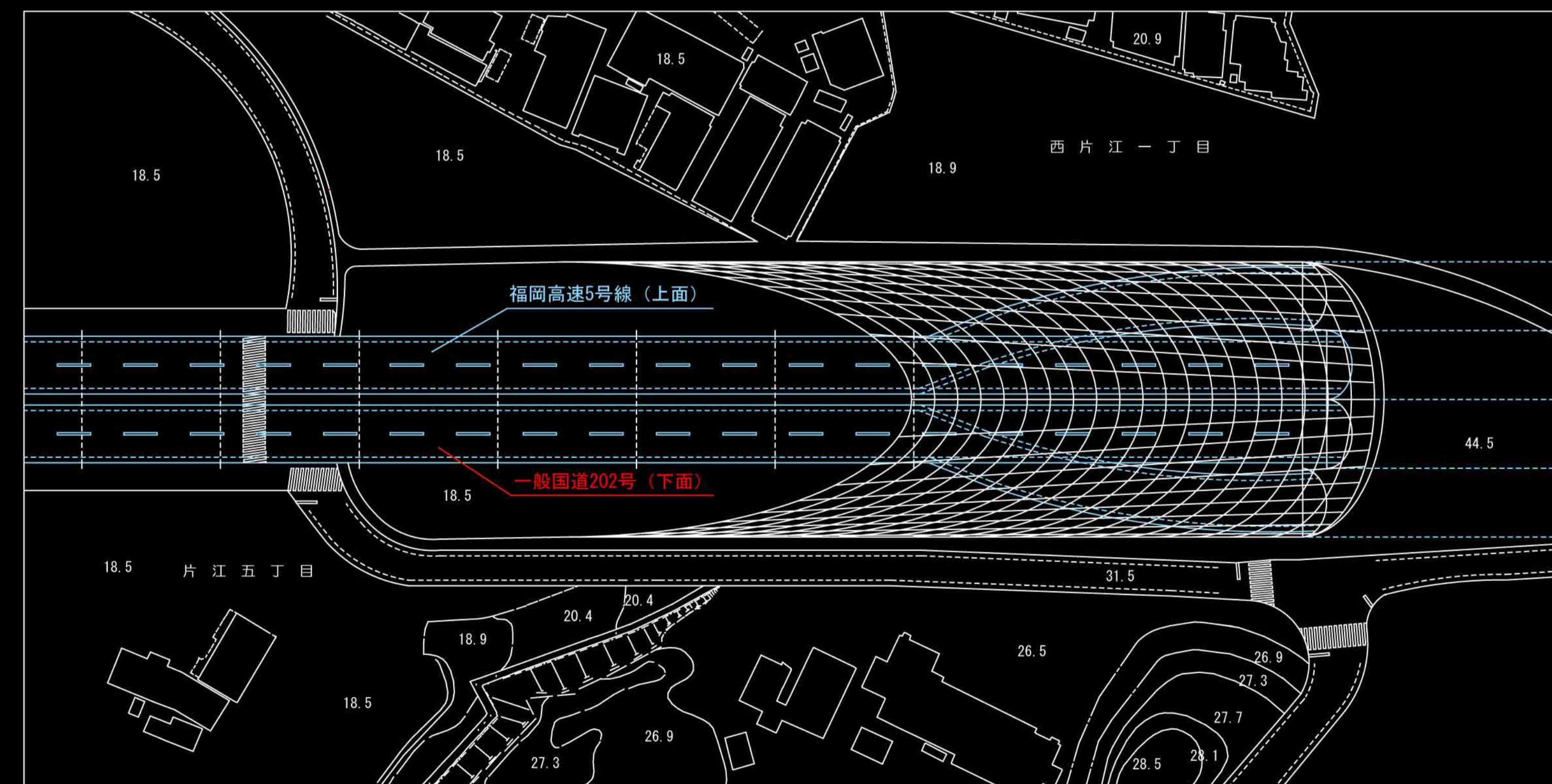
対象地は住宅街と大学の間挟まれており、多くの人で賑わっている。そこで、ゆとりある空間を作ることで人々が快適に利用できないかと考えた。開放的な桁下空間の確保により人の流れの演出を行った。

視線の流れ

対象地が視点場から視対象へ変わる時、それは油山展望台からの夜景に浮かび上がる。相互の視線をとらえた象徴的な都市景観のアイストップを造形した。



- 昭9年創立。557,210㎡の耕地面積をもつ。約21,000人の学生数を誇る、九州最大のマンモス校。大学病院も併設。
- 福岡市の南西部に位置し、福岡市から最も近い市民の憩いの山である。油山には、森林浴を楽しむための様々な施設があり年間30万人の入山者で賑わう。
- 一般国道202号福岡外環状道路。福岡市南西部地域の活性化促進のため整備が進められている。平成18年春には九州初の環状道路ネットワークが誕生予定。
- 福岡高速5号線。一般国道202号福岡外環状道路とともに建設中。



平面図

断面図

